

2 学年通信

新宮町立新宮東中学校
令和7年7月8日 第36号
文責:江頭 俊輔

[大阪関西万博の熱中症対策について]

さて、今回は大阪関西万博の熱中症対策についてお伝えします。現在、福岡県でも連日、熱中症アラートが発表され、熱中症が心配される時期になっています。修学旅行は9月25日～となっており、現在ほどの暑さではないにしても、熱中症の心配は絶えません。そこで今回は大阪関西万博における熱中症対策を確認していきたいと思います。

[大阪関西万博の熱中症対策①給水スポット]



まずはなんといっても【給水スポット】です。会場内にはたくさんの給水スポットがあります。(江頭がマップで数えた結果、21台発見しました!) この給水スポットに水筒(万博では『マイボトル』という)を入れると、冷たい水を補給することができます。実際に私も試してみましたが、並ぶこともなく、補給することができますので、とても便利だと感じました。また、【水飲み場】も設置されていて、給水に関してはとても配慮されています。

修学旅行当日、水筒を忘れないようにしましょう。

[大阪関西万博の熱中症対策②医療救護施設]

次にお伝えするのが、医療救護施設についてです。少し見にくいのですが、右図にマークのある部分が【医療救護施設】の場所になります。詳しく言うと、診療所と応急手当所に分かれます。会場内には8つの医療救護施設があり、医師が3人は常駐しているということでした。体調が優れない場合は、会場のスタッフに伝えると迅速に対応してくれます。(江頭も会場スタッフの方に「医療救護施設はどこですか?」と尋ねたのですが、スタッフの方は即座に「体調は大丈夫ですか?」と対応していただきました。私としては、見学したかっただけだったのですが、スタッフの方の対応にとっても驚きました。) 大阪関西万博研修中には、各班に1台GPSを配付します。体調不良やケガがあれば、GPSを通じて、本部に連絡をすることで、先生たちも医療救護施設に行き、状況を確認することができます。



[大阪関西万博の熱中症対策②休憩スペース]



大阪関西万博の会場は基本的に屋外です。ただ、休憩スペースも多く確保されています。マップでも休憩スペースが紹介されていますし、大屋根リングの下(左図)も日陰になる部分が多く、休憩する際には便利です。適宜、休憩スペースを活用しながら、パビリオンに並んだり、会場の見学をしたり、大屋根リングを散歩したりと新しい技術やそれぞれの文化を満喫してほしいと思います。(大屋根リングはリングの上に登ってみると、思っていたよりも広大で、また見晴らしがよいので、清々しい気持ちになれます。) 会場の施設の知識を確認して、行程を計画していきましょう。